|  |
| --- |
|  |
| 操作チュートリアル  2段階認証 |



|  |
| --- |
| 第3版  2025/05/12 |

**目次**

[1. 2段階認証とは 1](#_Toc197708704)

[2. 管理者の設定 2](#_Toc197708705)

[2.1. 2段階認証設定の方法 2](#_Toc197708706)

[2.2. メール文書設定 5](#_Toc197708707)

[3. 利用者のログイン方法 7](#_Toc197708708)

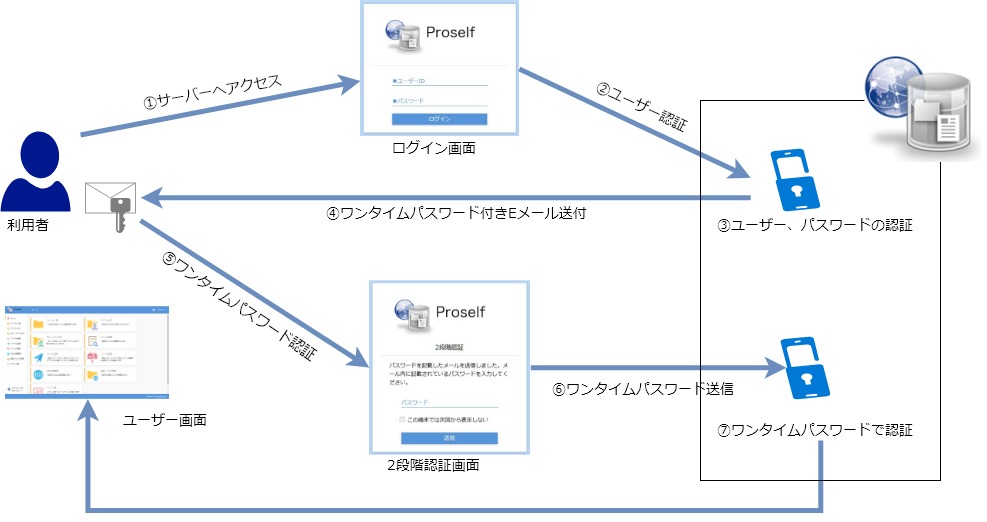
[4. 利用者の2段階認証設定 10](#_Toc197708709)

[5. 2段階認証用メールアドレス初期化 12](#_Toc197708710)

# 2段階認証とは

2段階認証は利用者がProselfにログインする際にユーザーID、パスワードの他に、システムからメール送信されるワンタイムパスワードによる認証を必要とするセキュリティ機能です。2段階認証に必要なワンタイムパスワードは利用者に設定されたメールアドレスにのみに送信されますので、その他Proselfの利用者や、悪意ある第三者のログインを防止することが可能です。

※2段階認証はProself Ver5.10以降で使用可能です。



**2段階認証**

# 管理者の設定

ここでは2段階認証を利用するために管理者が設定する項目とその内容について記載しております。

管理者が行う2段階認証に関する設定は以下の通りです。

＜設定内容＞

* 2段階認証設定（必須設定）
* メール文書設定（任意設定）

## 2段階認証設定の方法

ここでは管理者が行う基本的な2段階認証の設定方法について記載しております。

|  |
| --- |
| **注意１：**2段階認証を設定する前に「システム設定」-「メール」から「メールサーバー情報の変更」及び「システムメールの設定」を行ってください。設定方法につきましては「操作チュートリアル管理者編」を参照してください。  **注意２：**2段階認証を行う利用者にはメールアドレスが設定されている必要があります。2段階認証を設定する前にユーザー管理にて利用者にメールアドレスが設定されているか確認してください。 |

管理者でログインし、管理画面を開きます。



**管理画面**

「システム設定」-「セキュリティ」-「2段階認証設定」をクリックします。



**システム設定**

2段階認証設定画面が表示されますので、各種設定を行い「設定」をクリックします。



**2段階認証設定**

各設定項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| 2段階認証を使用する | ログイン後の2段階認証を使用する場合は「on」に変更します。 |
| クライアントで2段階認証を使用する(※1) | クライアントソフトウェア(※2)で2段階認証を使用する場合は「on」に変更します。 |
| SSOを使用した場合に2段階認証を使用しない(※3) | クライアント認証(Auto)によるログイン後や、統合認証オプション(Enterprise Editionのみ)、SAML認証オプション(Enterprise Editionのみ)によるシングルサインオン後に2段階認証を使用しない場合は「on」に、2段階認証を使用する場合は「off」に設定します。 |
| 利用者が2段階認証を必要とするかを選択可能にする | 利用者自身で2段階認証を行うかを任意に選択させる場合は「on」に変更します。 |
| 利用者が2段階認証をスキップ可能にする | 利用者自身で一度2段階認証を行った後にスキップを行うかを任意に選択させる場合は「on」にし、2段階認証をスキップしてログイン可能となる日数を指定します。 |
| 2段階認証パスワードポリシー設定 | 以下の2段階認証パスワードポリシーを設定します。  **パスワード桁数**  送信されるワンタイムパスワードの桁数を指定します。  **パスワードに使用する文字**  送信されるワンタイムパスワードで使用する文字を小文字、大文字、数字、記号の中からチェックボックスで指定します。なお、各文字の内容はそれぞれ必要に応じて編集することができます。 |

※1 Ver5.70以上で利用可能です。

※2 Proself Client for Windows Ver2.50 以上とProself Client(iOS版)バージョン2.3.4以上で利用可能です。

※3 Ver5.73以上で利用可能です。

## メール文書設定

２段階認証のワンタイムパスワードメールが記載された「2段階認証パスワード通知メール」の文書を変更することができます。この設定は必須設定ではありません。

管理者でログインし、管理画面を開きます。



**管理画面**

「システム設定」–「メール」–「メール文書設定」をクリックします。



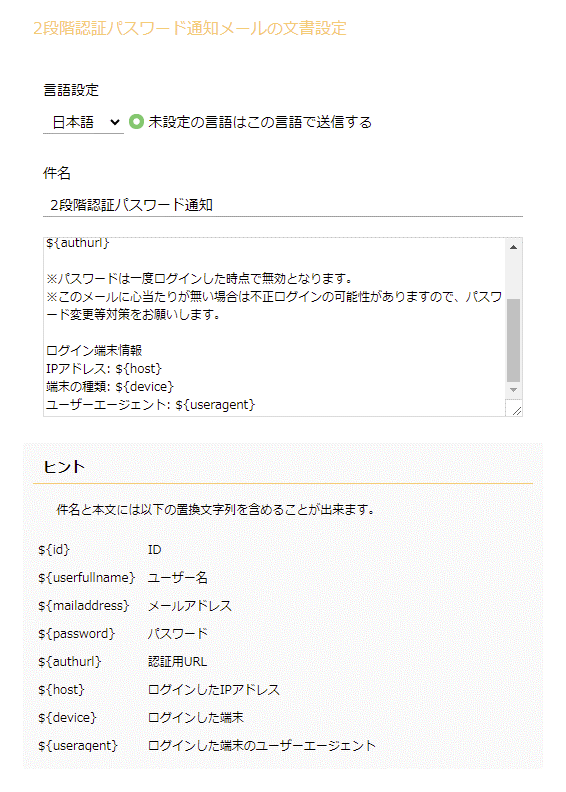
**メール**

メール文書設定画面から「その他」-「2段階認証パスワード通知メールの文書」の「設定」をクリックします。



**その他**

２段階認証パスワード通知メールの文書設定からメール内容を任意に変更することができます。



**2段階認証パスワード通知メールの文書設定**

# 利用者のログイン方法

「[2.1.2段階認証設定の方法](#_2段階認証設定の方法)」で「2段階認証を使用する」を「on」に設定した場合の、利用者がProselfにログインするまでの手順を記載しております。

ブラウザでProselfに接続しログイン画面を表示して、利用者のユーザーID、パスワードを入力し「ログイン」をクリックします。



**ログイン画面**

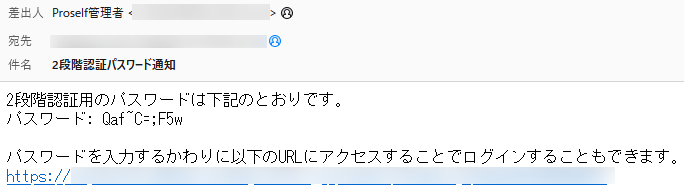
正しいユーザーID、パスワードが入力されると2段階認証画面が表示されます。



**2段階認証**

|  |
| --- |
| **ヒント：**管理者が「利用者が2段階認証をスキップ可能にする」を設定している場合、2段階認証画面に「この端末では次回から表示しない」が表示されます。「この端末では次回から表示しない」にチェックを入れますと、管理者が設定した日数の間2段階認証を省略することができます。ただし、ご利用のブラウザのキャッシュが削除されている、もしくはこの操作を行った以外のブラウザで起動しますと、管理者が設定した日数の間でも2段階認証画面が表示されますのでご注意ください。 |

ご利用のメーラーソフトを起動し、「2段階認証パスワード通知メール」が受信されることを確認します。



**2段階認証パスワード通知メール**

2段階認証画面のパスワードに「2段階認証パスワード通知メール」に記載されたワンタイムパスワードを入力し「送信」をクリックします。



**2段階認証**

※置換文字列${authurl} で置換された認証用URLにアクセスすることでパスワードを入力せず直接ログインすることが可能です。

ファイル一覧画面が表示されましたらログイン成功です。



**ファイル一覧**

# 利用者の2段階認証設定

「[2.1.2段階認証設定の方法](#_2段階認証設定の方法)」で「利用者が2段階認証を必要とするかを選択可能にする」を「on」に設定した場合、利用者自身で2段階認証を行うか任意に設定することが可能です。利用者自身が2段階認証を設定するには、次の手順で設定します。

利用者でログインし、ユーザーメニューから「ユーザー設定」をクリックします。



**ファイル一覧**

ユーザー設定画面から「2段階認証を使用する」を「on」に変更します。



**ユーザー設定**

2段階認証のワンタイムパスワードを受け取るメールアドレスを設定するには「2段階認証用メールアドレス」に任意のメールアドレスを設定します。設定していない場合（空白の場合）は、管理者がユーザー管理で設定したメールアドレスにワンタイムパスワードメールが送付されます。



**ユーザー設定**

設定が完了しましたら「設定」をクリックします。



**ユーザー設定**

# 2段階認証用メールアドレス初期化

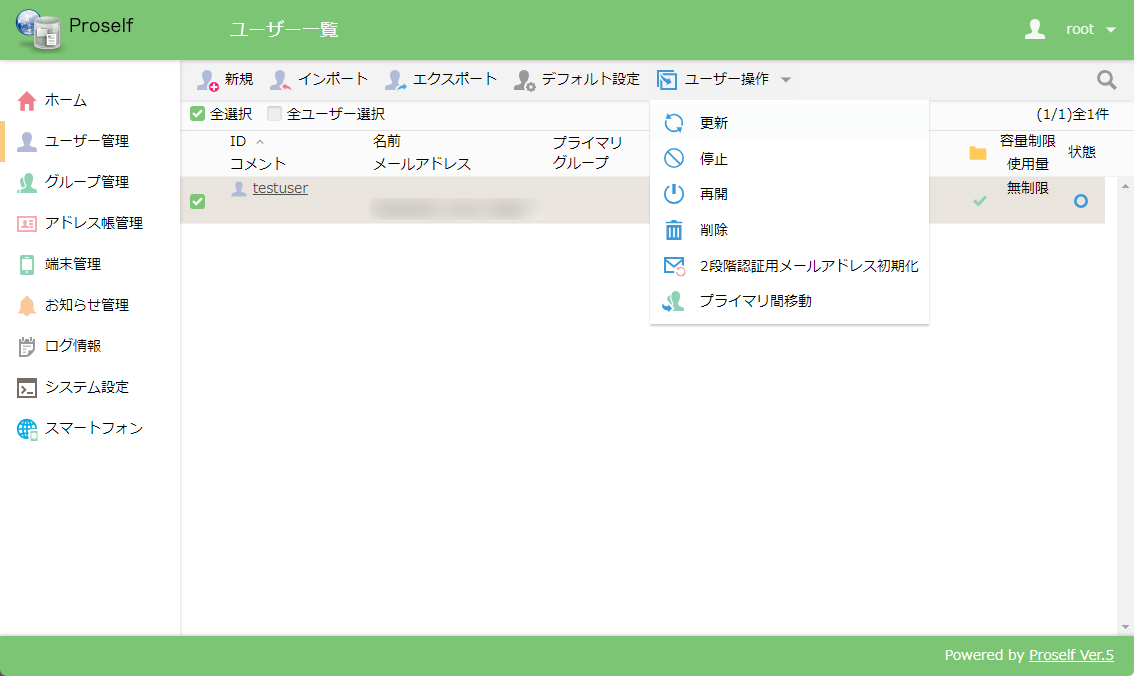
利用者が設定した2段階認証用メールアドレスに誤ったメールアドレスを登録した場合等、認証に必要なメールアドレスが利用できない場合、管理者は利用者が設定した2段階認証用メールアドレスを初期化することができます。

管理者でログインし、「管理画面」-「ユーザー管理」をクリックします。



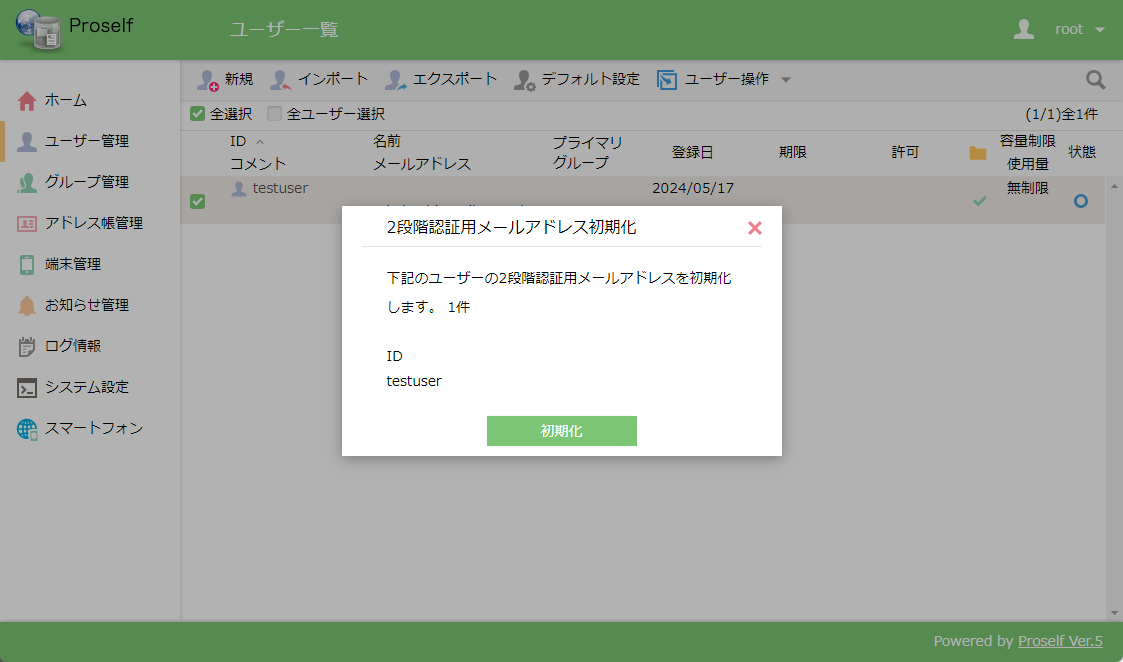
**管理画面**

ユーザー一覧より、2段階認証用メールアドレスを初期化する利用者にチェックを入れ、上メニューから「ユーザー操作」-「2段階認証用メールアドレス初期化」をクリックします。



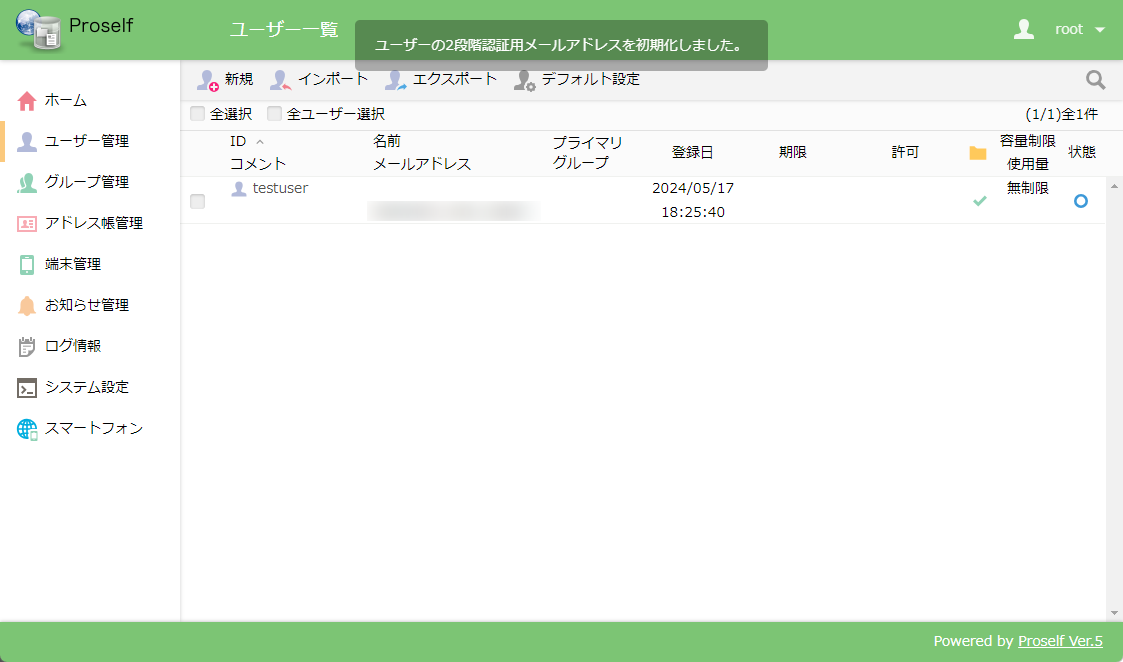
**ユーザー一覧**

2段階認証用メールアドレス初期化ダイアログより、ユーザーIDが選択したユーザーであることを確認し、「初期化」をクリックします。



**2段階認証用メールアドレス初期化**

初期が完了しましたら画面上に「ユーザーの2段階認証用メールアドレスを初期化しました。」が表示されます。



**ユーザー一覧**